

詩吟 <関心流> 講師 児玉 芳恭 登録数 8名

毎週水曜日の講座を楽しみにしている仲間が笑顔で集まってくると、まず歓談が始まります。

教室に於ける人間関係の絆と、漢詩の詩情を理解して、吟ずる事の魅力と楽しさが、みんなの心を結びつけているのです。

課題吟の練習では、常に緊張が続くので、気持ちが引き締まります。

年に何回か発表会や競吟大会に参加する機会があり、日頃の練習の成果を多勢の人々に聞いてもらっています。発表することで、吟力も高まり、練習時以上の緊張感が健康増進に役立つと信じ、練習に励んでいる仲間です。



(児玉講師)



(初吟会の発表を終えて)

腹の底から声を出し、詩を作った先人達の心情を考えて吟じていると、現代の我々にも感動が伝わってくる気がします。



(教室での練習)

